



那覇市制施行90周年記念

広報

なはし市民の友



第731号 毎月1回発行
2011年(平成23年)

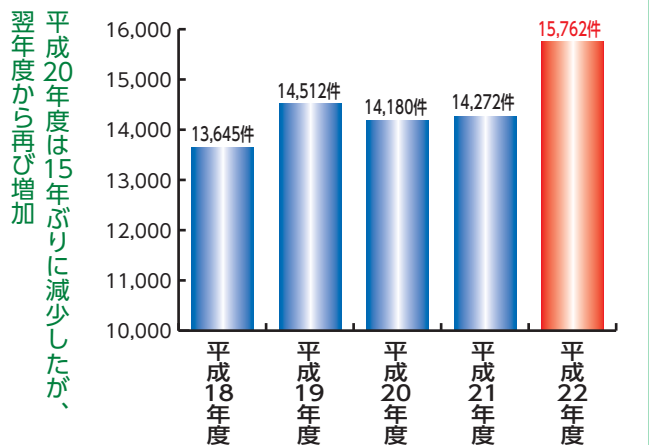
12月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2011(平成23)年10月末現在	
総人口	320,020 (2,196)
男	154,407 (1,110)
女	165,613 (1,086)
世帯数	138,383 (1,292)

住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 丸正印刷(株)

救急出動件数



昨年度、救急車の出動件数は15,762件で、過去30年間で最高の出動件数でした。1日あたりだと平均43件。約33分に1度の割合で救急車が出動していることとなります。また、通報から現場到着までの所要時間は平均8.3分。出動件数の増加に伴い、5年前に比べると約1.4分遅くなっています。

今年度の上半期は、昨年度の出動件数より約700件増えており、深刻な状態です。このまま増加すると、現場到着がさらに遅れる危険性があります。

増え続ける
救急車の出動件数

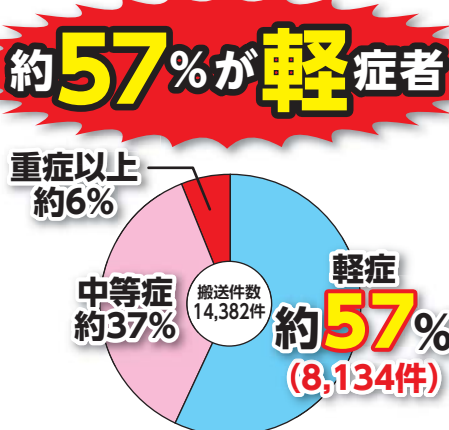


助かる命が救えない……タクシー代わりに利用しないで

救急車(救急隊)は、急病や交通事故などで今すぐ医師の治療を受けなければ生命に危険がおよぶ傷病者に備えています。病状やケガなどが深刻なほど救急隊の適切な応急手当、迅速な医療機関への搬送が必要ですが、近年、軽い病状やケガなど緊急性が無いのに救急車を要請するケースが増えています。

昨年度、救急車出動件数の約57%は風邪や突き指などの軽症者への対応でした。このような状況が進むと、1分1秒を争う重症患者への対応が遅れてしまいます。尊い命を救うため、また必要な時に救急車が使えるよう、緊急性がなく自分では病院に行ける場合は、自家用車やタクシーなどの公共交通機関、または介護タクシーをご利用ください。

平成22年度搬送者の傷病程度



困った要請が急増中



昨年度の搬送者の傷病程度を見てみると、入院などを必要としない軽症が約57%、入院期間が20日以内の中等症が約37%、重症以上が約6%となっています。この半数以上を占める軽症の中に、安易に救急車を利用する実例があります。実際に次のような要請がありました。

- 事例3 4、5日前から飲酒し続けて気分が悪い
- 事例2 1週間前ぐらいから便が出なくて辛い
- 事例1 タクシー代がないから救急車で病院へ連れて行って欲しい

緊急性はないけど、病院までの交通手段がないときは?

交通手段がない場合は、公共交通機関や下記の介護タクシーをご利用ください。事業者ごとに利用料金が異なりますので、直接各社にお問い合わせください。

認定事業所名	電話番号
※ 沖縄交通介護サービス	861-2239
介護タクシー シーサー	090-6427-4134
介護タクシー 福祉交通	090-1945-6760
介護タクシー がんじゅう	090-2505-6386
介護タクシー ハッピー	090-8833-7591
介護タクシー ヒカリ	090-1368-6803
介護タクシー まさし	090-9787-0710
介護タクシー かりゆし	090-6423-4601
介護タクシー あすなろ	090-9584-5400
※ 沖縄国際民間救急サービス	080-2690-1811

※印は、動けない人を運ぶストレッチャー搬送可



介護タクシーには、応急手当講習を受講した乗務員がおり、車椅子の方でも乗車可能な自動車です。

救急隊は、要請があれば現場にいち早く到着しようと、最善を尽くして取り組んでいます。しかしながら、このような身勝手な理由で救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする重症患者のもとへ到着が遅れ、助かる命を救えなくなる危険性が高くなります。

もちろん、交通事故など一刻を争う場合は、119番通報をためらう必要はありません。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車の要請を控えてください。



- 事例5 病院へ行ったが、待合室に大勢待つていたから救急車を要請した
- 事例4 バレーボールをしている時に、つき指をしてしまった



お問い合わせ:救急課☎867-1199

Q世話は大変では? 日々の世話は、役員10人ほどが当番制で活動しています。

Q子ヤギは、バンビのようにぴよぴよ飛び跳ねていて、とてもかわいい。公園では、いつでも誰でもヒージャーと触れ合うことが出来ます。



ヤギさんに触れ合う園児たち

ヒージャーには、名前がついています。生まれた子ヤギの名前は、公園の掲示板で募集して、決めています。

ヒージャーは、バンビのようにぴよぴよ飛び跳ねていて、とてもかわいい。公園では、いつでも誰でもヒージャーと触れ合うことが出来ます。

癒しを与える草食み隊!

地域のみなさまとても協力的で、ヒージャーの餌となる草を運んでくれます。1頭1日あたり2〜3キログラムの草を食べます。ヒージャーは自分で食べられる草と食べない草を選んで食べる事が出来るので、草刈りした草をそのまま運んでも大丈夫なんです。

草刈りした草はごみに出すのではなく、ヒージャーが食べてくれますので、草刈りをしたときには、是非ご連絡を!

Q今後の活動計画について 9月には草食み隊として協働大使に任命されたので、市内の公園をはじめいろんな地域を廻って草食みを強化していきたい。また、老人の憩いの場を作ったり保育園の園児たちがもつとヒージャーと触れ合えるようにしていきたいです。まちを綺麗にしながらみんなに癒しを提供していきたい。

ヒージャーの草を食む姿は、見るものの心を和やかにし、ゆつたりとした気分になります。是非、公園に遊びに来てください。

大石公園ヒージャー愛好会
☎090-6776-0426

第13回は、那覇市協働大使の大石公園ヒージャー(ヤギ)愛好会会長大城永一さんです。



大石公園ヒージャー愛好会会長 大城永一さん

協働さん

いらっしやい!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第13回
大石公園
ヒージャー愛好会

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846

「いい暮らしより 楽しい暮らしを」～人と人とが支え合う協働により、心の豊かさを感じるまちを目指して～